

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 102-0083

所在地 東京都千代田区麹町1丁目5番地4-712

評価機関名 株式会社 ケアシステムズ

認証評価機関番号

機構 06 - 167

電話番号 03-3511-5035

代表者氏名 和田 俊一

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	伊藤 一郎	経営	H1601010
	②	後藤 勇二郎	福祉	H1901051
	③	和田 輝美	福祉	H1001021
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	青葉さくら保育園			
事業所連絡先	〒	189-0002		
	所在地	東京都東村山市青葉町1丁目7番地68		
	TEL	042-390-1190		
事業所代表者氏名	園長 平野 宏卓			
契約日	2023 年 7 月 18 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 9 月 21 日			
利用者調査結果報告日	2024 年 1 月 4 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 9 月 4 日			
自己評価結果報告日	2024 年 1 月 4 日			
訪問調査日	2024 年 1 月 9 日			
評価合議日	2024 年 1 月 9 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	第三者評価を行うにあたり、職員自己評価と保護者アンケートをはじめ、事前資料や訪問調査当日の書類確認など多面的な情報収集に努めた。また、職員からも評価項目ごとにチェックが入れられる評価シートを用い、集計報告書に反映させた。 訪問調査では、園内見学、保育場面の見学、経営層・専門職などからのヒヤリングを実施した。 第三者性確保については、当評価機関と事業者との間には特別な関係は存在せず、中立公正な立場で調査を実施した。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名 園長 平野 宏卓

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 園児・保護者から慕われ、信頼される存在であること</li><li>2) 新たな取り組みへの挑戦・チャレンジ</li><li>3) 相手を思いやり、お互いに協力する日頃の関係性を大切にする</li><li>4) 日々の保育を1つ1つ丁寧に行う</li></ol>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>明るく健康的であり、優しさや温かさがベースにあること 日常の当たり前のことを丁寧・確実に実践でき、子どもたちの憧れや手本となれる存在</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたちの大切な”人生”に関わらせていただいていることを意識する</li><li>・愛情をしっかりそそぎ、成長を見守っていく</li><li>・保護者も支えていく大切な仕事をしている というプロ意識を持つこと</li></ul>

調査対象

調査日現在、本園の全92世帯(利用者総数112名)を調査対象とし、46世帯より回答を得た。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱い、当園に複数名園児を預けている場合は、一番低年齢の園児に対する回答とした。

調査方法

アンケートは、QRコードを付した依頼文を配付し、評価機関に直接電送してもらう方法と、アンケート用紙を園にて配付してもらい回答は返信用封筒にて評価機関に直接送付してもらう方法の2種類で実施した。

利用者総数  
利用者家族総数(世帯)  
共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	112
利用者家族総数(世帯)	92
共通評価項目による調査対象者数	92
共通評価項目による調査の有効回答者数	46
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	50.0

## 利用者調査全体のコメント

総合的な満足度に関する調査の結果は、対象者の97.8%が「大変満足」または「満足」と回答し、「どちらともいえない」が2.2%であり、大変高い満足度が得られている。  
項目別では、＜保育サービス＞に関する8設問はすべてにおいて、大変高い満足度であった。特に「子どもの発達への有用性」では、97.8%の大変高い満足度が得られている。  
＜安心・快適性＞に関する4設問は3設問において、大変高い満足度であった。特に「園内の清潔な環境」、「職員の接遇・態度」では、93.5%の大変高い満足度が得られている。  
＜利用者個人の尊重＞に関する3設問はすべてにおいて、大変高い満足度であった。特に「子どもの気持ちを尊重した対応」では、95.7%の大変高い満足度が得られている。  
＜不満・要望への対応＞では、「不満や要望への対応」は大変高い満足度であった。

## 利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	45	1	0	0
「はい」が97.8%、「どちらともいえない」が2.2%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「いつの間にか新しいことを覚えて帰ってきてるので感動しています」、「散歩、音楽や感触遊び、毎日たくさんの遊びを提供してもらい、子どもも園に着くと嬉しそうに顔を上げて安心して、「毎日楽しそうに通っています。季節ごとの行事や天候に合わせた活動、異年齢交流、体操教室もあり、とても充実しているように感じています」という声が聞かれた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	44	2	0	0
「はい」が95.7%、「どちらともいえない」が4.3%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「手遊びやリズム遊び、絵本などが好きなので、積極的に取り組んでいると感じる」、「園で行ったことを家で話してくれており、その様子から保育園での活動に興味を持っているのだと感じました」、「様々な活動をとても工夫してくれており、子どもはとても日々楽しく通っています」という声が聞かれた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	43	3	0	0
「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が6.5%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「季節感もありとても良いです」、「家では食べないものも園では食べてくれるので助かっている」、「給食に使用する食材の皮剥きなどを手伝わせてくれて、とても興味を持っているように食べてくれるようになりました」という声が聞かれた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	3	0	0
「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が6.5%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「戸外遊びや行事などにより、子どもが自然や社会と関わる機会は十分確保されていると思います」、「天気の良い時はさくらテラスや近隣の公園で広々と遊んでるようで、親としても嬉しいです」、「屋上の大きなプール、お庭の大きなどんぐりの木、畑、メダカ、夏にはクワガタ飼育など、子どもたちが自然に触れる機会が多く、本当にありがたいです」という声が聞かれた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	43	2	0	1
「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が4.3%、「無回答・非該当」が2.2%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「お迎え時間が遅くなった際も嫌な顔をすることなく預かってくれて、ありがたい」、「温かい言葉をかけてくれます」、「柔軟に対応してくれていると思います」という声が聞かれた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	41	5	0	0
「はい」が89.1%、「どちらともいえない」が10.9%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「玄関の扉はICカードだったり、鍵も子どもが届かない高い位置にあるので、不審者の侵入や外に出てしまうこともないと思います」、「大きなケガなく過ごさせていただいて助かっております」、「登園時に玄関前に経営層や見守り隊の方がいてくださるので、ありがたく感じています」という声が聞かれた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	42	3	0	1
「はい」が91.3%、「どちらともいえない」が6.5%、「無回答・非該当」が2.2%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされていると思います」、「ある程度日程を年度はじめに教えていただけることもあり、予定の調整や参加がしやすいです」、「前もって知らせていただいているので、休みが取りやすいです」という声が聞かれた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	39	6	1	0
「はい」が84.8%、「どちらともいえない」が13.0%、「いいえ」が2.2%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「今 तकさん相談に乗っていただいています。遅い時間でもいつも笑顔で対応くださるので安心してしています」、「信頼関係があると思います」、「ちょっとした相談でも、いつでも気持ち良く聞いてくださいます」という声が聞かれた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	43	3	0	0
「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が6.5%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「いつもきれいと感じます」、「園全体が清潔で明るい」、「非常に清潔です。整理整頓の仕組みができています」という声が聞かれた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	43	3	0	0
「はい」が93.5%、「どちらともいえない」が6.5%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「担任の職員以外も名前を覚えてくださって挨拶していただけます」、「経営層はじめ、どの職員方も親切」、「適切だと思います」という声が聞かれた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	40	6	0	0
「はい」が87.0%、「どちらともいえない」が13.0%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「小さなケガでも原因や対応をきちんと話してくれる」、「職員の対応は信頼できます」、「丁寧な対応や報告があり、ありがたいです。迎え時に担任に会えなかった時も、ホール対応の職員に引き継ぎがしっかりされていることが多く、起きた時の状況などがわかりやすく助かっています」という声が聞かれた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	34	8	0	4
「はい」が73.9%、「どちらともいえない」が17.4%、「無回答・非該当」が8.7%であり、高い満足度であった。自由意見では、「職員の対応は信頼できます」、「すぐに対応している」、「きちんと状況把握した上で、なぜダメなのかなどを説明しながら対応して下さいます」という声が聞かれた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	44	2	0	0
「はい」が95.7%、「どちらともいえない」が4.3%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「日々のお迎えのひと時から、子どもに寄り添ってくださっているのを感じます」、「どの職員の方も丁寧に優しく子どもに接してくれていると感じています」、「本人の意思を尊重してくださっている」という声が聞かれた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	38	5	0	3
「はい」が82.6%、「どちらともいえない」が10.9%、「無回答・非該当」が6.5%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「守ってくれていると思います」、「自分は特に何もありませんが、他の方のプライバシーに触れる機会もないので、しっかりしていると感じています」、「今のところは問題ないと思います」という声が聞かれた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	42	4	0	0
「はい」が91.3%、「どちらともいえない」が8.7%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「お知らせで日々の保育内容がとてもよくわかります」、「保育内容に関する説明は、わかりやすいと思います」、「毎日何をして遊んだか、どんな様子だったかななどを写真も添付して報告してくれるので、安心して預けられます」という声が聞かれた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	39	6	0	1
「はい」が84.8%、「どちらともいえない」が13.0%、「無回答・非該当」が2.2%であり、大変高い満足度であった。自由意見では、「困りごとのご相談など投げかけると、驚くほど素早く対応くださいます」、「職員は、きちんと対応してくれていると思います」、「伝えた後もその後確認したり、アフターケアまでしっかりしているように感じています」という声が聞かれた。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	28	12	1	5
「はい」が60.8%、「どちらともいえない」が26.1%、「いいえ」が2.2%、「無回答・非該当」が10.9%であった。自由意見では、「相談できることをわかりやすく伝えてくれました」、「特に問題ないと感じています」、「そのような場面になったことがない」という声が聞かれた。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float:right">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float:right">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	法人の思いを大切に、保育目標の周知と実践に努めている 青葉さくら保育園では、「歩・実・心」という法人の思いを大切に、保育理念を踏まえた子ども中心の保育を実施している。事業報告からは、園全体で保育目標に沿った取り組みが着実に進められていることを確認することができる。職員に対しては、新入職員研修や年度当初の職員会議などで周知している。新入園児保護者に向けては入園時での説明を行い、在園児保護者には年初の園だよりによって保育方針に触れるようにしている。園の玄関への掲示、ホームページの掲載、パンフレット配付、などによっても確認できるようにしている。	
	経営層は役割・責任を明確化し、リーダーシップを発揮している 園長は、「職務分掌表」「組織図」を通じ、職員の役割・責任・方向性を明確にし、積極的な周知に努めている。園長は会議や面談を通じて自らの役割と責任を明確にし、取り組むべき方向性を示し、職員が自信を持って保育に取り組めるようサポートしている。非常勤職員に対しても、会議の実施や議事録の共有を通して情報共有を図っており、園長は職員との積極的な意見交換を通じて指導やアドバイスを行い、リーダーシップを発揮している。	
	体系的な意思決定と周知によって、透明性と信頼の確保に努めている 重要な案件に対する意思決定については、その内容と決定経緯を職員へ周知している。具体的な例として、体操教室の外部委託先の変更については、リーダー会議での検討を経て、職員会議にて全体への報告が行われた。保護者への情報提供は、懇談会や保護者配信アプリ、園だよりを通じて行われており、必要に応じて個別対応も実施されている。このような意思決定の流れは、法人や保育全体に関する案件にも適用されており、法人からの通知があった場合などには園長が、リーダー会議や職員会議を通して職員に情報を伝えている。	

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>地域との連携によって、適切な情報把握と課題解決に取り組んでいる</p> <p>東村山市保育園連絡協議会や法人連絡会議を通じて、地域や保育園の現状に関する情報を収集し、これを運営に反映している。職員には必要な情報のみを共有する方針を取っている。保護者からの意見や要望は、行事後の連絡帳やアンケート結果を通じて把握し、これをリーダー会議で検討している。また、職員の意向は人事希望聴取や定期的な面談を通じて収集され、職員の働きやすさや業務効率の改善に役立てられている。地域福祉のニーズに関しても、関連する機関からの情報を活用し、運営に組み込んでいる。</p> <p>中長期計画、事業計画の運用について今後の課題としている</p> <p>園の運営は主に単年度の全体的な計画を中心としており、これに基づいて年間指導計画や行事予定などの計画が策定されている。自己評価や第三者評価、保育士の振り返り、目標シート記入、面談などを通じて、日々の保育内容の評価と改善が行われている。しかしながら、現状では事業運営における中長期的な視点が不足しており、特に人材育成やサービスの質の向上、ICT化などをテーマにした場合、長期的な計画が必要とされることから、法人と共に改善にむけて取り組むことを課題としている。</p> <p>保育計画の定期的な振り返りでPDCAサイクルの確立に取り組んでいる</p> <p>保育においては、年間を4期に分けて保育計画および年間指導計画を立案し、各期ごとの振り返りを行っている。カリキュラム会議を通じての達成度合いの検討や見直し作業が行われており、PDCAサイクルが循環している様子がうかがえる。これにより、次期の指導計画や保育計画の策定が行われており、保育の質の向上に努めている。一方で、事業計画に関しては、理事会向けに形骸化している側面がみられ、達成基準の明確化や職員への共有について課題としており、法人との協力のもとで改善が必要である。</p>		

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当



### カテゴリー3の講評

#### 法・規範・倫理の周知と遵守に積極的な取り組みを実施している

4月の職員会議では、保育マニュアルを抜粋し、コンプライアンスや倫理的な行動に関する指導を行っている。事例を交えた議論を通じて、職員の意識を高めると同時に、チェックリストによる自己点検や外部研修も導入している。新入職員研修では、倫理、コンプライアンス、権利擁護、虐待防止に関する教育が行われており、毎年4月と10月には合同研修を実施し、子どもの人権尊重や虐待の防止、人格を尊重した保育の実践などに重点を置いている。さらに、サービス心やマナー向上にも注力し、服装や言葉遣いを含む基本的な職業倫理の向上に努めている。

#### 利用者の声への迅速な対応と虐待防止にむけて意識を高めている

保護者の意見は、保育参加やクラス懇談会で共有され、多様化する保育ニーズの把握に努めている。意見箱の設置、保護者連絡アプリ、個別面談などを通じて、保護者の声を収集し、苦情解決制度は入園説明会や園内掲示で周知している。意見や苦情は、法人や園、第三者委員との連携を行い、迅速に対応している。虐待防止に関しては、職員会議内での虐待防止研修の実施や、複数担任制の導入による相互チェックを強化し、家庭での虐待の疑いがあるケースには、記録の徹底と職員間の情報共有を行い、子ども家庭支援センターと連携する体制が整っている。

#### 保育園の専門性を活かし、地域貢献に積極的に取り組んでいる

地域の保護者への子育て支援として、保育園の専門性を活かした活動(わらべうた、絵本の読み聞かせ、離乳食講座など)を積極的に行っている。また、青葉、秋津ネットワークとの活動や小規模保育園との連携を通じて、地域のイベントや行事への参加を促進している。保護者の保育参加や園見学への参加呼びかけ、入園前見学会・説明会の実施も行われており、地域とのつながりを強化し透明性を高めている。さらに、教育機関との連携による実習生の受け入れやボランティアの受け入れも積極的に行い、地域の教育機関との連携に努めている。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>定期的な訓練とマニュアルに基づくリスクマネジメントに取り組んでいる</p> <p>全体的な計画には災害への備えとして、火災や地震などに対する避難訓練の実施(毎月)、消防署による視察、消火訓練の実施、被災時の対応計画と備蓄に関する内容が含まれ、感染症対策や不審者訓練も実施されている。訓練後は、職員会議などで振り返りを行い、改善点を見つけて対策を講じている。また、ヒヤリハット報告書や事故報告書の作成を通じて、インシデントやアクシデントが発生した場合の原因分析と再発防止策の検討を行っている。さらに、緊急対応マニュアルをはじめとする各種マニュアルの整備により、リスクへの対応と対策を強化している。</p> <p>BCPIにより一層のブラッシュアップを計画し、周知を目指している</p> <p>全体的な計画の中に、園内外の設備や用具の清掃、消毒、子ども及び職員の清潔保持、感染予防対策の指針作成と実施、保護者との情報共有について記述している。BCPIは基本的な枠組みが整っているが、さらなる改善が必要であり、検討を進めている。今後改善に取り組み周知と理解を進め、職員や保護者と共有する計画を持っている。また、感染症発生時の掲示による周知や、事故報告書の作成などを通じて、危機管理に関する情報の共有と対応の迅速化を図っている。</p> <p>ICT活用による厳格な情報管理と保護者への周知に努めている</p> <p>タブレットやスマートフォンを用いた連絡帳の入力管理は、クラス内の鍵付き書庫や事務室での保管によって行われ、秘密保持の徹底に努めている。個人情報の保護に関する規程やマニュアルが整備されており、入職時及びその後の研修を通じて職員への教育が行われている。各デバイス、アプリケーションにはパスワードやIDの設定があり、アクセス権の制限を講じ、情報漏洩のリスクを最小限に抑えることが可能となっている。さらに、入園時には「重要事項説明書」を用いて個人情報保護に関する説明を行い、保護者の同意を得ている。</p>		

5 カテゴリー5		
職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

#### カテゴリー5の講評

##### 職員の資質向上と専門性強化に注力した人材育成計画に取り組んでいる

全体的な計画には、職員一人ひとりの資質向上を目指し、また職員全体の専門性向上を図るための取り組みが示されている。職員に求められる専門性を理解し、保育の質の向上に向けた組織的な取り組みが行われている。具体的には、職場研修や外部研修の計画作成を通じて、研修結果の活用が促進されている。職員像にはプロ意識の重要性が強調され、職員は子どもたちや保護者を支える役割を意識することが期待されている。新卒は法人採用、中途やパート職員は園で募集を行っており、採用時の面接は園長と副園長兼主任により実施されている。

##### 継続的研修と職員サポートによって、質の高い保育人材育成につなげている

研修計画では、法人研修や園外・園内研修、公私立保育士研修などが行われている。職員の定着率は比較的安定しており、働きやすさや有給休暇の取得しやすさなどが職員自己評価でも評価されている。キャリアアップ研修の受講や救命救急講習への全職員参加、職員面談の実施などを通じて、職員の個人的な成長とキャリア形成を支援している。主任保育士や乳児リーダー、幼児リーダーの配置、人事評価制度の実施、健康診断やストレスチェックの提供、職員交流会なども行われて、職員の定着と意欲向上に寄与している。

##### グループワークと担当制でチームワークと組織力の強化を目指している

園内研修ではグループワークを取り入れ、具体的な保育の環境や衛生管理、園庭の活用などについて討議し、チームワークの促進につなげている。職員会議やカリキュラム会議では、研修報告書や年間指導計画に関する共有と、職員間の意見交換が行われている。園内では、クラス担任とは別に、運営に必要な係を職員が受け持つ担当制を導入しており、大きな行事の実施を担当制で行うことで、職員間の協働と連携を促している。カリキュラム会議では、年間保育計画に対する振り返りを行い、職員からの積極的な意見交換を促している。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

青葉さくら保育園では、前年度の重要課題として園庭の活用と保育内容の見直しに焦点を当てた取り組みを行っている。開園から11年が経過し、保育内容が安定している一方で、新たな視点によるチャレンジが必要であるとの認識のもと、保育園の運営を0ベースで見直すことに取り組んでいる。

具体的には、園庭の活用に関して、行事の見直しやシステム化、見守りセンサーの導入に関する情報を把握し、現状に満足することなく、全職員が新たな取り組みに挑戦している。また、研修で学んだことを保育に反映させることにも取り組んでおり、職員一人ひとりが保育園のことを共通の言葉で「語れる」ようにすることの重要性にも注力している。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

園庭とグラウンドの積極的な活用を通じて、保育の幅を広げる取り組みを実施した。この結果、従来は外部スペースを借りて行っていた夏祭りや運動会を、園庭とグラウンドで安全に行うことができるようになった。また、職員間での話し合いを通じて、子どもの成長に合わせたルールを設定し、園庭を保育に活用できるようになった。

これらの新たな取り組みにより、行事の運営方法が合理的になり、夏祭りや運動会などの行事を円滑に実施することが可能となった。保育の幅が大きく広がったことで、保護者からの満足感も上がり、行事の見やすさなどの評価が向上した。さらに、園庭やグラウンドで遊ぶことにより、異年齢の子どもたちの交流が促進され、職員の見守りも強化された。

これらの結果から、園庭とグラウンドの活用は、保護者と子どもたちの満足度を高める効果があったと検証されている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園内の各行事の見直しやシステム化、見守りセンサーの導入に関する情報を把握し、現状に満足することなく全職員が新たな取り組みに挑戦している。

また、保育においては、保護者や関係者に保育理念、保育方針、保育目標やねらいなどをしっかりと伝えられるようにすることを目指しており、保育の質の向上と理念の実現につながると考えられている。職員研修を通して、各職員が具体的に検討し、それぞれの意見を通じて保育観の共有、目指す方向の一致を目指す取り組みが行われている。

これらの取り組みは、園庭の有効活用と職員のコミュニケーション能力の強化を通じて、保育の質の向上を目指すものである。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

職員はそれぞれが自身の意見を持ち、園の保育理念、保育方針、保育目標やねらいなどについて考える能力が向上している。特に、園庭の活用方法に関しては、職員が各クラスの成長に応じた取り組みを考案できるようになってきている。

「語れる」保育士の育成に向けては、定期的に園庭リニューアルの意義や目的の説明を行い、リニューアル後の運用方法を職員に伝えることで、職員間での共通認識を深めている。

今後については、検討された園庭の活用方法を具体的なルールとして書面化し、これを職員に周知することが必要であると考えられている。これにより、園庭の活用方法についての明確な指針が設定され、より効果的な活用が期待されている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ1の講評			
<p>行政からの情報以外にもHPやパンフレットからも、情報を入手できるようにしている</p> <p>入園を希望する保護者に対しての情報媒体としては、行政のHPの私立保育施設一覧や保育施設ガイドブック、第三者評価の受審結果公表などで情報を得ることができる。また、法人で作成している園のHPやパンフレットも用意し、HPは行政のHPとリンクされている。園のHPには同法人内の系列福祉施設が掲載されており、関東エリアの当園がある施設をクリックすると基本概要を確認することができるようになっている。パンフレットは来園時に受け付けのマガジンラックから受け取ることができるようになっている。</p> <p>行政などへの情報提供により、地域児童が円滑に入園ができるよう連携を図っている</p> <p>入園を希望する保護者が行政の窓口を通じて園の情報が入手できるように行政との連携に努めており、行政の家庭部保育幼稚園課へ、毎月、定期的に空き情報などをメールにて伝えている。現在、園での利用稼働率は目標に達成しているが、地域の待機児童などが円滑に入園できるよう行政などへの情報提供により、連携を図っている。また、市内の保育園連絡協議会への情報提供や地域の情報収集、研修会などの参加により連携ができるようになっている。</p> <p>園の見学は基本的に予約制となっているが、柔軟な対応にも努めている</p> <p>園の見学は基本的に電話による事前予約制となっており、年度内で分散して9回、見学会を実施している。コロナ禍においては1回につき、最大5組までの対応となっていたが5類に移行されてからは、緩和され制限はなくなっている。また、見学会との日程が合わない保護者には別日を設けるなどの柔軟な対応に努めている。飛び込みの見学に関してもスケジュールが空いていれば可能な限り対応を行うが、難しい場合には簡単な説明とパンフレットの配付をして、その場で見学予約を取っている。見学者の情報は記録して、その後のフォロー体制も整えている。</p>			

サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園説明会では重要事項説明書をもとに園の説明を行い、保護者からの同意を得ている</p> <p>入園が決定した際には入園時面談を実施して、その後、別日での入園式後に入園説明会を行っている。入園説明会では重要事項説明書をもとに園での基本的なルールなどを説明し、保護者からの同意を得ている。また、特別支援を要する子どもに関しては入園時面談や入園説明会を別日で設けるなどの配慮をしたり、外国籍の子どもの入園がある場合には翻訳アプリの活用や英語のできる保育士での通訳、簡単な英文の重要事項説明書の用意などの対応をしている。現在は在籍はないが、宗教食やハロウインの仮装など、宗教に関する対応も行うようにしている。</p> <p>入園時面談での内容や提出帳票類などを、職員間で共有するように努めている</p> <p>入園時面談では、子どもの身体測定を実施し、その際に子どもの様子などを確認して、その後、園長、主任、リーダー、看護師、栄養士と保護者との面談を行っている。保護者との面談時には、自宅の子どもの様子、保護者の勤務状況、アレルギーや健康に関することなどを聞き取り、生活管理指示書やアレルギー診断書を配付し入園説明会で提出してもらっている。入園説明会では児童票を保護者に配付し、1週間以内に提出してもらっている。それらの帳票類や健康診断時での子どもの様子、面談内容などを職員間での共有化に努め、保育に反映している。</p> <p>保育や教育の継続性が保たれるように、転園児や卒園児の情報提供を行っている</p> <p>ケースとしては殆どないが、引っ越しなどにより園を変更する園児に関しては、転居先の行政や関係機関から依頼があれば必要に応じて、保護者からの確認後に情報提供を行い、保育の継続性が保てるよう連携する体制を設けている。また、卒園児に対しては、小学校へ保育要録などの情報を提供しており、補足情報として学校の先生へ保幼小連絡会などで口頭による情報提供も行っている。任意にはなるが、保護者に就学支援シートを記載してもらい、園の支援内容も追記して、市を通して小学校への提出を行っている。</p>			



サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 13/13

**評価項目1**  
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

**評価項目2**  
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当

**評価項目3**  
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

**評価項目4**  
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

**入園時面談などでの情報をもとに、園児の生活状況や心身状況の把握に努めている**  
入園時面談や入園説明会後に保護者から提出してもらった児童票、生活管理指示書、アレルギー診断書などや保護者からの聞き取り内容をもとに作成した面談記録などで、園児の生活状況や心身状況などを把握するように努めている。入園後には、連絡帳の内容を含むSNS共有アプリ、登降園時での保護者との会話、クラスの保育日誌などを記載することによって園児の全体的な姿を把握するように努めている。また、年2回の健康診断、0歳児は月2回の健康診断や毎月の身長・体重測定により、園児の健康状態を発育の成長記録に記載して把握している。

**タブレットを活用し、職員間でのタイムリーな情報共有を図っている**  
日々の保育に関する内容はクラスの保育日誌に記載しており、指導計画に沿った保育がなされているかを確認している。登園時に保護者からの口頭での伝言があった場合には、人数確認表や朝礼ノートに記載し、タブレットにて内容を写真に撮って確認が行えるようにしている。また、連絡帳の内容を含むSNS共有アプリやクラスの保育日誌はタブレットからの記載や確認が行えるようになっており、職員間のタイムリーな情報共有を図り、担任ではないクラスの園児の内容も把握するようにしている。

**朝礼や職員会議などでも口頭による申し送りをを行い、情報共有が行えるようにしている**  
毎朝の朝礼では、人数確認表の申し送り欄や朝礼ノートの記載内容をもとに口頭での連絡事項伝達や申し送りをを行い、保護者からの伝言や園児の日の様子など各クラスからの報告を行い、園全体の日々の情報共有に努めている。また、月1回の職員会議や乳児会議、幼児会議などにおいても職員間の口頭による情報共有が行えるようにし、申し送り内容以外でも、ほかのクラスの月案などの計画を確認することによって、全園児の内容を把握するように努めている。

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
<p>入園説明会の際には、保護者に個人情報に関する取り扱いについての説明を行っている</p> <p>入園説明会の際には、重要事項説明書などを用いて保護者に個人情報に関する取り扱いについての説明を行い、承諾書を交わしている。その内容としては個人情報保護するとともに、情報を外部とやりとりする場合があること、SNSや印刷物の写真、動画の撮影、掲載があることなどを説明し、掲載しても構わない媒体などをチェックボックスを設けて選んでもらい承諾を得ている。また、職員の入職時には機密保持誓約書に署名し、OJT研修で個人情報に関する研修を行っている。</p> <p>園児たちのプライバシーが守れるような保育に努めている</p> <p>日々の保育では園児たちのプライバシーを守るような保育に努めている。乳児のオムツ替えの際には、ほかから覗かれないように衝立を使用したり、幼児が屋上で遊ぶ際にも目隠しとして黒い日よけを設置している。着替えは必ず園の建物内で行うようにし、トイレ前での着替えを行っており、全裸にならないような着替えに配慮している。また、年長児を対象として年に1回、看護師による保育指導を実施し、男女の性差の話や身体についての話を行って、園児たちが学べる場を設けている。</p> <p>子どもの人権や虐待に関する研修の受講を行い、職員会議などでは事例検討を行っている</p> <p>虐待や育児困難の理解を深めるためにマニュアルや研修を設けており、園内研修などでも子どもの人権や虐待に関する内部研修を行っている。また、外部研修においても希望する職員が受講を行い、その後、園内での報告を行っている。市のオレンジリボン運動にも参加して虐待に関する対応方法などを学んでいる。世間で虐待に関するニュースなどがあった際には朝礼や職員会議などで事例検討などを行っている。家庭内で虐待の疑いがみられた場合には行政の担当窓口や児童相談所との連携を図るように心がけている。</p>			

サブカテゴリ-6		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-6の講評			
<p>保育マニュアルを整備しており、いつでも確認ができるようになっている</p> <p>各種のマニュアル内容を含む保育マニュアルを園長、主任、リーダー、看護師、栄養士を中心に整備している。保育マニュアルは園内のOJT研修や内部研修時のレジュメ、職員会議などで活用し、職員間での共有化を図っている。職員で分からないことなどがあった場合には、いつでも確認が行えるように職員室に常置し、各職員に配付している。またPCからの確認もできるようになっている。園長や主任、リーダーは、職員がマニュアル通りに業務が行えるよう指導やアドバイスを行っている。</p> <p>保育マニュアルは年度初めに見直しを行い、職員全体での確認をしている</p> <p>各種のマニュアル内容を含む保育マニュアルは、毎年、年度初めに見直しを行っている。その際には職員全体で見直し内容の確認してもらい意見を挙げてもらうようにしている。見直しにより、変更点などが挙げた場合には、保育マニュアルの改訂を行い、職員間での共有化を図っている。また、内部研修や職員会議などで保育マニュアルを使用した際に内容が古くなっていたり、園の現状と合わない職員からの指摘や意見などがあった場合には、その都度での見直しを行い必要があれば改訂している。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 36/36	
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p><b>子どもの主体性を育む保育環境が整っている</b></p> <p>各保育室内は手の届く場所に玩具や絵本を配置し、子どもが遊びたい時に自由に遊べるよう配慮している。幼児クラスでは、はさみやクレヨンなどの工作材料を自由に使えるようにしており、廃材を使った創造的な遊びにも対応できるようにしている。片付けについても、子どもが活動を続けたい場合には、特定の場所に保管することで、その意欲を尊重している。玩具の定期的な入れ替えや、季節に応じた新しい玩具の導入、秋津図書館からの定期的な絵本貸し出しも行っており、乳児向けには手作りの玩具を用意している。</p> <p><b>異年齢交流を通じて互いを尊重する心が育つよう援助している</b></p> <p>幼児クラスの異年齢交流「ぐるんぱ」を月に2回、年間を通じて計画的に実施しており、昼食までの時間を一緒に過ごし、様々な活動を通じて自然な交流を促している。この交流は、幼児会議で話し合われた内容を基に進められ、年度末のお店ごっこに向けた製作活動にも一緒に取り組めるようにしている。日々の散歩や運動会の準備や競技、季節に応じた行事も共に行い、異年齢交流を通じて子どもたちが年齢の違いなどを認め合い、互いを尊重する心を育てることができるよう援助している。</p> <p><b>特別な配慮が必要な場合も、子どもがそれぞれのペースで成長できるよう支援している</b></p> <p>配慮が必要な子どもの保育に対しては、環境調整や個別の支援を積極的に行っている。子ども一人ひとりの興味や能力を見極め、参加できる活動には積極的に参加させ、難しいときは安心できる環境を提供することで、全ての子どもが安定して楽しく過ごせるよう配慮している。安全面では階段などの危険箇所に対して注意深く援助を行い、自然な関わりを通じてクラス内での受け入れを促進している。また、個別日誌と指導計画の作成、外部機関との連携による訪問支援や療育サービスの活用、保護者との情報共有、外部研修の受講などにも取り組んでいる。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>保護者と職員間で子どもの日常に関する情報を共有できるようにしている</p> <p>登降園時は、家庭での子どもの様子を保護者から確認し、園での1日の様子を保護者に伝える取り組みを行っている。連絡帳アプリを活用し乳児は毎日の入力を行い、幼児については毎日ではないが、1日の様子をクラスごとに写真や文字を通じて伝えるようにしている。乳児は室内まで保護者を受け入れ、3歳までは支度を手伝ってもらい、4歳と5歳の子どもたちは保育室ドア前での受け入れを行っている。遅番職員への情報の伝達は口頭やメモを用いて行われ、連絡ボードには朝の情報と夕方5時半に残っている子どもたちの情報を分けて記載し情報共有している。</p> <p>子どもたちの発達段階に合わせた生活習慣の支援に力を入れている</p> <p>0歳児から個人マークを用いて持ち物や場所を認識できるように促し、1歳児からは子どもが自分でやりたいという気持ちを尊重し、大人が手伝いながら自立への第一歩を支えている。2歳児からはロッカーの出し入れを自分で行ったり、トイレトレーニングを始めるが、子どものペースに合わせて進めている。乳児クラスでは担当制保育を採用しており、子ども一人ひとりに丁寧に丁寧に関わり、必要な支援を行っている。3歳児からは自分でできる子もいるが、必要に応じて大人が援助を続け、4歳児からは一人での身支度を促すなど、個別の援助を行っている。</p> <p>子ども一人ひとりの体調や発達に合わせた休息環境を提供し心身の健康を支えている</p> <p>休憩時間については、年齢や個々の状況に配慮した取り組みを進めている。入園直後の子どもが午前中に眠くなったり、昼食後に眠気が強い場合には、生活リズムに合わせて早めに昼寝を開始するなど、子どもの状態に合わせた配慮が行われている。年長児は、年明けから昼寝時間を徐々に減らすなど、小学校進学に向けた生活リズムへの調整を行っている。眠らない子どもには、横になって体を休めるよう促し、昼寝をしない場合は机上遊びなど静かな活動に切り替え、昼寝から早く目覚めた子どもたちには、ホールでの遊びを提供するなど、柔軟に対応している。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの発達段階に応じた遊びを通じて、自主性と社会性の育成に力を入れている</p> <p>子どもの自主性と自発性を重視した保育に取り組んでおり、遊び込める時間と空間の配慮がなされている。登園後はすぐ園庭で外遊びを楽しむことができる環境がある。乳児に対しては、移動にバギーを活用し、散歩先で遊びの時間を増やすような工夫も行われている。幼児に関しては、行事の準備で忙しくなることに配慮し、自由な遊びの時間を十分に確保するよう努めている。また、集団活動への参加を促すために、2歳頃からの子どもが互いにコミュニケーションを取りながらごっこ遊びを楽しめるよう、保育士が積極的に関わり、適切な援助を行っている。</p> <p>子どもが楽しみながら言葉に対する感覚を豊かに育むことができる環境を整えている</p> <p>子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉や表情、身振りを通じた応答的なやり取りを楽しめるような環境を整えている。言葉の発達を支えるため、わらべうたや手遊び、スキップを多く取り入れることで、子どもが自然に言葉に親しむことができるよう援助している。また、言葉の違いについても注意深く指導し、人前での注意は避けるなど、子どもの感情に配慮した声かけに努めている。さらに、言葉以外のコミュニケーション手段として手話教室の実施も行われている。言葉に対する感覚だけでなく、多様なコミュニケーション能力の育成にも努めている。</p> <p>生活や遊びを通じてきまりの大切さに気づくことができるよう配慮している</p> <p>生活や遊びの中で順番を守ること、遊具の正しい使用方法、危険を避けるための遊び方など、日常のさまざまな場面できまりを守ることの大切さを伝えている。また、お互いの気持ちを尊重し仲良く遊べるよう、相手の気持ちを代弁するなどの配慮を行い、子どもの年齢や発達段階に応じたわかりやすい言葉での声かけを心がけている。散歩時には交通ルールの指導を通じて、社会のルールを身につける機会も提供している。子どもたちが社会性を育みながら、自らの感情を適切にコントロールする力を身につけることができるよう支援している。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p><b>子どもたちが自ら学び、成長できるような行事の実施に力を入れている</b></p> <p>行事や活動を通じて子どもたちが自主性を発揮し、積極的に関わることができるよう援助している。発表会では、子どもたちの興味や関心に基づいた絵本を題材に選び、背景画や衣装、小道具の製作、セリフの作成に至るまで意見を出し合い、共に作り上げるプロセスを大切にしている。自分たちのアイデアや努力が形になる喜びを実感できるようにしている。年長クラスを対象にしたお泊り保育では、園内での1泊を通じて、材料の買い出しからカレー作り、キャンプファイアーなど、さまざまな体験を行い、自立心や協力する心を育む機会を提供している。</p> <p>行事では自己表現の力や協働する楽しさを学ぶことができるように工夫をしている</p> <p>子どもたちが協力し合い、成し遂げることの喜びを体験できるよう、さまざまな行事を実施している。運動会やお楽しみ会、劇の発表会では、日常的に劇遊びや歌、楽器遊びを取り入れながら行事につなげるようしており、一人ひとりが役割を果たし達成感を味わうことができるようにしている。乳児クラスでは、音楽に合わせたリズム遊びを取り入れることで、小さな子どもたちも集団活動の楽しさを味わえるよう工夫している。また、季節の行事を通して、集会での楽しい活動、製作活動、特別な食事など季節感を感じられる豊かな体験を提供している。</p> <p><b>子どもたちが意欲的に行事に取り組むよう保護者への理解と協力を促している</b></p> <p>行事の準備と実施において、保護者の理解と協力を得るために様々な工夫に努めている。保護者が参加しやすいように曜日や時間を考慮して行事を計画し、行事の目的や内容について保護者が理解しやすいように事前に情報提供を行っている。また、子どもたちの製作活動に必要な廃材集めなど、保護者の積極的な協力を促し保育活動への理解を促している。運動会での2歳児親子競技の導入や、夏祭りや縁日、盆踊り、和太鼓のイベントを午前中に実施することで、保護者が参加しやすい環境を整えている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p><b>保育時間が長い子どもがくつろぎ、安心した環境の中で過ごせるよう配慮している</b></p> <p>保育時間が長い子どもたちが安心して過ごせるように、環境づくりに細心の注意を払っている。延長保育を利用する子どもたちは、夕方5時半までは年齢別にクラス保育を行い、その後は乳幼児が異なる空間での合同保育に移行する。6時以降は全年齢が一緒になるが、遊びのスペースをマットで区分けし、年齢に応じた遊びができるよう配慮している。特に、乳児がいる場合は小さな部品が出ないように気を付けるなど、安全面にも配慮している。補食はホールで共に食べることで、1日の終わりに温かい雰囲気の中で子どもたちが交流できるようにしている。</p> <p><b>保育時間が長くなる中でも、子ども一人ひとりが楽しく過ごせるよう工夫している</b></p> <p>保育時間が長くなる中で、保育形態の変化や担当職員の交代があっても、子どもたちが楽しく過ごせるように細やかな配慮を行っている。延長保育時間中は異年齢の子どもたちが一緒になることが多く、これを機会と捉えて、年齢を超えた交流や協力する遊びを促進している。また、担当職員の変更が生じて、子どもたちが不安を感じないように、日中の保育との連続性を保ちつつ、夕方の活動にも意味を持たせている。日中に取り組んだテーマを延長保育で再び楽しむ時間を設けるなど、子どもたちが一日を通して充実感を持てるように工夫している。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p><b>食事の提供において子どもたちの健康と興味を考慮した工夫が施されている</b></p> <p>栄養士が作成する献立は、季節感を大切に毎月の定番料理を取り入れつつ、和食中心の栄養バランスのとれた食事を心がけており、魚料理を多く取り入れ、出汁をとり薄味での提供を行っている。献立の食材は旬なものを選び、食材をクラスに持っていき、調理前の食材を見たり触れたりして子どもたちの関心を深めるようにしている。また、行事食には、ひな祭りや子どもの日など、季節感を取り入れながら行事にちなんだメニューで子どもたちの食べる楽しみを促しており、おやつにフルーツを取り入れるなどの工夫もしている。</p> <p><b>子どもたちの食に対する関心を深める取り組みを積極的に行っている</b></p> <p>栄養士による魚の解体は毎年恒例のイベントであり、調理前の野菜や魚などの生の食材を見せることで、子どもたちの食べ物への興味を引き出し、食事に対する理解を深めている。また、食事中に栄養士が巡回し、食材の説明を行うことで、食べることの重要性や楽しさを子どもたちに伝えており、食事マナーの指導も食育の一環として取り組んでいる。さらに、畑やプランターでトマトやキュウリの栽培を行い、収穫したもので調理活動を実施するなど、食への興味や関心を育むだけでなく、健康的な食生活の基礎を築く重要な役割を果たしている。</p> <p><b>保護者との連携のもとで、食に関する取り組みを行っている</b></p> <p>食に関する取り組みを保護者と連携して行っており、保育園と家庭、地域が一体となった食育の推進に努めている。給食の内容は園だよりやシステムを通じて写真や情報を共有し、昼食サンプルの掲示やレシピ提供により家庭でも同様の食事を作ることができるよう支援している。特に離乳食の段階では、食材の一覧表を用いて保護者と綿密に相談を行い、個別の状況に応じた食事提供を心がけている。アレルギー児への対応として月1回、保護者を含め担任、看護師、栄養士によるアレルギー会議を実施し、献立表を確認しあっている。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目7の講評		
<p><b>看護師を中心に子どもたちの健康と安全を守る体制が整っている</b></p> <p>看護師は毎日クラスを巡回し、視診によって子どもたちの健康状態の確認に努め、発熱やケガなどの緊急時対応も担当している。保健指導では、うがい、手洗い、咳エチケットからプライベートゾーンの教育、虫歯予防、体の名称に至るまで、幼児を対象にした実践的な内容を取り入れながら、集会やクラス活動を通じて、健康づくりの大切さを子どもたちに伝えている。保健指導は子どもたちの健康を守るだけでなく、自ら健康を管理する力を育てることもつながっている。感染症が流行する時期には、集会は行わず各クラスで保健指導を実施している。</p> <p><b>医療的ケアが必要な子どもの受け入れに対しての体制を整えている</b></p> <p>現時点で医療的ケアを必要とする子どもの受け入れ実績はないものの、看護師や専門機関との連携に基づいた対応体制が確立されており、必要に応じた専門的な対応ができる環境を整えている。また、職員への看護師による研修は、SIDS(乳幼児突然死症候群)、嘔吐処理、アレルギー対応など、子どもたちの健康と安全を守る上で重要な内容を補っており、デモンストレーションやシミュレーション、マニュアルの読み合わせなどを通じて、職員の知識と技術の向上を図っている。</p> <p><b>子どもの健康管理に関して保護者と連携に努めている</b></p> <p>保健だよりを毎月作成し、保健指導の予定や月の目標、季節の注意事項などを保護者に伝えている。感染症の情報はシステムを利用して迅速に発信し、園の玄関に設置された保健コーナーでの掲示を通じても情報提供を行っている。SIDS(乳幼児突然死症候群)予防については、入園時に保護者に詳しく説明し、センサーの導入など園での取り組みも共有している。子どもたちの健康管理に細心の注意を払い、保護者との信頼関係構築にも努めていることがうかがえる。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者との会話に努めており、園児の情報をお互いに交換するようにしている</p> <p>日々の登降園時には保護者との会話に努めており、園児の様子などの情報をお互いに交換するようにしている。また、保護者の就労に関する内容なども積極的に相談を受けるようにし、園で対応できる延長保育や親しみ保育の期間など、保護者の就労などの事情を踏まえて可能な限り柔軟な対応に努めている。当日の延長保育希望も18時までには連絡があれば補食の対応を可能とし、その時間に連絡が間に合わない場合でもお茶やお煎餅などの用意をしている。</p> <p>保護者が参加できる行事は、コロナ禍で制限や中止などあったが緩和されてきている</p> <p>保護者の養育向上と保護者同士の交流が行えるような場として、クラス懇談会の開催や運動会、夏祭り、お楽しみ会、保育参加などの保護者が参加できる行事の機会を設けている。コロナ禍においては制限をかけたたり、中止をする行事などがあったが、5類に移したことにより、緩和されてきている。お楽しみ会に関してはコロナ以降、スペースの問題などもあり、幼児クラスのみでの開催となっている。また、クラス懇談会は年度はじめと終わりに開催しており、計画書の説明や振り返りを保護者に分かりやすく説明している。</p> <p>子育てなどの悩みを相談できる場として、保護者との個別面談期間を設けている</p> <p>保護者の子育てなどの悩みを相談できる場として、年1回、保育参加の時期と合わせて、保護者との個別面談期間を設け希望する保護者との面談を実施している。その際には園での園児の様子や自宅での様子などをお互いに情報交換しつつ、保護者からのニーズなども確認している。個別面談期間以外でも保護者からの希望があれば、常時、個別面談が可能となっており、園側からも保護者の様子などで気になることがある場合には声をかけて個別面談を行っている。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>同法人内の高齢者施設などを活用した活動を行っている</p> <p>園児たちの散歩の活動時には近隣の公園やグラウンドなどを活用している。園が所在している施設敷地内には同法人の高齢者施設があり、その施設内1階の共有スペースには、地域住民が活用できるスペースや売店などがある。高齢者施設の共有スペースでは園児たちでお弁当を食べたり、売店での買い物なども行っている。また、市の保育園が参加する公民館で開催する観劇会などにも参加している。コロナ以降では中止となっているが、市民プールの活用やスーパーへの買い出し、消防署への訪問なども行っていた。今後は状況をみて再開を検討している。</p> <p>コロナ禍以降で中止となっている地域交流はあるが、再開の検討を行っている</p> <p>園が所在している施設敷地内の高齢者施設を活用する際には、高齢者施設の利用者などと顔を合わせた際には挨拶を交わしている。また、高齢者施設との交流会なども行っており、コロナ禍以降ではガラス越しでの工夫をした交流を行っている。コロナ禍以降中止となっているが、読み聞かせのボランティアの来園や園庭開放の際には地域の親子も参加できるようになっており、利用希望の見学会もイベントに合わせるようにしていた。今後は状況をみつつ再開の検討を行っている。</p>		



事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-2-2	虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている
タイトル①	保育目標の実現に向けて、園長主導のもと虐待防止研修に力を入れている	
内容①	虐待の事例に焦点を当てた園内研修を定期的に行い、職員の意識向上と対応力の強化に努めている。研修への参加によって、職員一人ひとりの意識を高め、青葉さくら保育園が掲げる保育目標の実現に向けて取り組んでいる。職員に対する教育の徹底は、子どもたちの安全と健やかな成長環境を確保する上で極めて重要であるとともに、保護者との信頼関係を深めるためにも大切であることを認識している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
タイトル②	園児と保護者の不安やストレス軽減のため、臨機応変に親しみ保育を実施している	
内容②	入園時には園児と保護者の不安やストレスを軽減することを目的に親しみ保育の実施をしている。親しみ保育については、入園時面談の際に保護者への説明をしている。1週間の実施が基本となっており、1、2時間の保育からスタートして、午前中だけの保育、給食を終えるまでの保育、午睡までの保育と段階を設けて行っている。保護者の就労状況や園児一人ひとりに合わせた親しみ保育の期間を設けるようにし、基本の1週間を前後する親しみ保育期間になる場合もあり、臨機応変な対応に努めている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	子どもが様々な表現を楽しめるような機会を多く取り入れている	
内容③	子どもたちが様々な表現活動を通じて自己表現の楽しさを体験できるよう、環境を整えている。絵画、製作、音楽、劇あそびなど様々な表現方法を取り入れ、年齢や発達に応じて子どもたちの感性や創造性を育むことに力を入れている。年長児に向けては、外部の講師を招いての手話や茶道の指導を取り入れており、子どもたちが新しいコミュニケーション手段や伝統文化に触れる機会となるなど、特徴的な取り組みとなっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	年間指導計画は年4回で開催されるカリキュラム会議にて振り返りを行い、月案は毎月での職員会議やクラス会議での振り返りを行っている
	内容	全体的な計画に基づいて、年間指導計画や月案、週案の作成を行っている。各指導計画の作成にあたっては、年間指計画の各月が月案に反映するように作成し、更に月案が週案にも反映するように作成している。年間指導計画をもとに職員が作成した月案や週案を園長と主任がチェックし、月案は職員会議やクラス会議ごとで振り返りを行い、年4回開催するカリキュラム会議では年間指導計画の振り返りも行っている。週案の振り返り時には園長や主任が職員に個別に指導やアドバイスをを行っている。
2	タイトル	子どもたちが四季の移り変わりを身近に感じることができる環境づくりに力を入れている
	内容	恵まれた園内外の環境を活かし、戸外活動や園外活動に力を入れて取り組んでいる。各クラスにおいて季節ごとの特色を活かしたプログラムが計画されており、幼児は屋上でのプール活動、乳児にはテラスでの水遊びや色水遊びなどが行われている。また、気候が良い時期には夕方の外遊びも取り入れ、子どもたちが自然と触れ合う時間を豊かにしている。敷地内の畑やプランター、屋上での栽培活動、幼児クラスを対象とした遠足など年齢に応じた園外活動を通じて、さまざまな自然体験の機会を提供している。
3	タイトル	時代の変化や子どもたちのニーズに対応できる園運営に取り組んでいる
	内容	時代の変化や子育て家庭のニーズなどに柔軟に対応しながら園運営に努めており、園庭のリニューアルや連絡帳システムの導入など具体的な取り組みを実施している。開園から11年が経過し、園の行事や活動、運営が定着してきている現状においても、常に0ベースでの見直しを行い、最善の策を考える姿勢を貫いている。従来方法をただ継続するのではなく、その意義を再評価し必要に応じて改善することで、より良い保育の提供と園運営を目指している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	パンフレットは園での過ごし方がイメージしやすいものとなっているが、HPはより詳細な情報の提供の検討が期待される
	内容	園の情報を提供するパンフレットには園の基本概要や保育目標をはじめ、1日の様子、活動の取り組み、各種行事、各クラスの説明などを写真やイラストを織り交ぜながら掲載しており、園での過ごし方がイメージしやすいものとなっている。ただ、HPに関しては、法人内の全福祉施設共通のものということもあるため、福祉施設全般の情報がメインとなっており、園の基本概要のみの掲載となっている。昨今、SNSでの情報入手が主流となっていることもあるため、より詳細な情報の提供の検討が期待される。
2	タイトル	小学校教育へのスムーズな移行を支援するための取り組みに期待したい
	内容	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、近年は小学校との直接的な交流が困難となっていた。年長児が昼寝時間を必要としなくなった際に、その時間を利用して小学校の校庭視察を行うなど、限られた機会を通じて小学校環境へ慣れ親しむ活動を行っているものの、保幼小連絡会での交流希望の伝達にもかかわらず、スケジュールの調整がつかず具体的な連携には至っていない。近隣の保育園との年長児交流も行われていない状況であり、小学校への円滑な接続を目指す保育園の取り組みにおいて、今後の課題となっている。
3	タイトル	中長期計画の策定と共有に向けた改善が期待される
	内容	現状は単年度の全体的な計画を中心とした園運営を行っているが、中長期計画は策定されていないため今後の課題として挙げられる。具体的な課題への対応や事業計画における達成基準の明確化、さらには職員と保護者への共有は、園の持続的な成長と質の高い保育提供に向けて必要不可欠な要素である。これらの改善には法人との協力が必要であり、中長期的な視点からの計画策定に期待したい。